

アフリカのきれいな街プラットフォームについて

アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP）は、アフリカの国々がきれいな街と健康な暮らしを実現することを目指して、廃棄物管理に関する知見の共有と SDGs を促進するためのプラットフォームです。環境省、国際協力機構（JICA）、国連環境計画（UNEP）、国連人間居住計画（UN-Habitat）及び横浜市のイニシアチブで 2017 年 4 月に設立され、アフリカ 35 カ国、64 都市が参加しています。

1 活動内容

プラットフォームの枠組みの下、廃棄物に関する知見やデータの収集・整備や、我が国の廃棄物管理制度や技術に関する研修等の活動を実施しています。SDGs の目標年である 2030 年に「きれいな街と健康な暮らし」がアフリカで実現することを目指しています。

本市は、これまでの廃棄物管理の知見・経験や先進的な技術が評価され、訪日研修の拠点として位置づけられています。



2 これまでの活動

■研修

(1) 訪日研修 3回（英語圏 2回、仏語圏 1回）

【JICA と連携し、アフリカ諸国の主に廃棄物部門の課長～局長級職員を対象に、我が国廃棄物管理を学びます。本市は、研修の講義、収集現場や廃棄物関連施設の視察等を実施しています。】

(2) スタディーツアー（アディスアベバ・エチオピア）

■フォーラム等

2017 年

4 月 設立準備会合（モザンビーク・マプト）

8 月 TICAD 閣僚会合サイドイベント（モザンビーク・マプト）

2018 年

6 月 第 1 回全体会合（モロッコ・ラバト）

10 月 TICAD 閣僚会合サイドイベント（東京）

2019 年

8 月 第 2 回全体会合（横浜）予定



訪日研修の様子

3 今年度の動き

今年度は、8 月 1 日より訪日研修を開催します。

また、8 月 26 日から ACCP 第 2 回全体会合を同時期開催の TICAD 7 に合わせて横浜で開催します。



アフリカの街では、
 廃棄物の収集サービスが行き届かず、
 環境や人々の健康への悪影響が
 深刻化しています。
 特にスラムなどの貧困地域では、
 感染症を引き起こす恐れもあります。
 一方で、多くの開発課題を抱え、余裕がない
 行政運営を強いられていることも多いアフリカの
 国々にとって、適切な廃棄物管理のための
 費用を持続的にねん出し、都市の衛生を
 維持することは大きな課題です。

2015年に国連で採択された持続的な開発目標(SDGs)にも
 「目標11:住み続けられるまちづくりを」、「目標12:つくる責任つかう責任」をはじめ、
 廃棄物管理に関する複数の目標が含まれています。



11.6

2030年までに、大気質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うこと
 によるものを含め、都市の一人当たりの環境
 上の悪影響を軽減する。



12.5

2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再
 生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大
 幅に削減する。

アフリカのきれいな街プラットフォーム事務局 (ACCP事務局)

独立行政法人国際協力機構 地球環境部 環境管理グループ内
 所在地: 〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル E-Mail: accp@jica.go.jp



UN HABITAT
 FOR A BETTER URBAN FUTURE



ACCP ウェブサイト

<https://africancleancities.org/>



ACCP Facebook

<https://www.facebook.com/ACCP2017/>



2030年までに
**アフリカの街を
 みんなできれいにしよう。**



ACCPは、アフリカの街をみんなできれいにする活動を行なっています。

設立

2017



設立準備会合(2017年4月、モザンビーク・マプト)



第1回全体会合(2018年6月、モロッコ・ラバト)

廃棄物処分場管理スタディツアー
(2018年12月、エチオピア・アディスアベバ)



廃棄物管理研修(年2回実施、日本・横浜市)



民間企業との連携・マッチング



青年海外協力隊と連携した
環境教育ガイドブックの作成



アフリカのきれいな街プラットフォーム

AFRICAN CLEAN CITIES PLATFORM

PLATE-FORME AFRICAINE DES VILLES PROPRES

アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP)は、アフリカの国々がきれいな街と健康な暮らしを実現することを目指して、日本の環境省、(独)国際協力機構、国連環境計画、国連人間居住計画および横浜市のイニシアチブで2017年4月に設立されました。2019年2月時点で、アフリカ35か国64都市が加盟しています。

アフリカの都市人口は現在およそ4.9億人(総人口の41%)ですが、年々増加の一途をたどっており、2050年には約3倍に達すると推定されています。都市化の進展とともに、廃棄物の量も増え続けています。

かつて、急激な経済成長と人口の増加が起きた過程で、日本でも廃棄物の管理が大きな社会問題となりました。このような問題に対応してきた経験と実績も活用し、ACCPは知見の共有や人材育成、投資促進などの取り組みを通じて、アフリカの国々や都市が適切な廃棄物管理と持続的な開発目標(SDGs)の達成に向けた対策を自ら見つけ、実施することをサポートしています。

2015年9月に国連で採択されたSDGsには、「2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たり環境上の悪影響を軽減する」など廃棄物管理に関する目標が含まれています。

アフリカ各国には、それぞれ国家目標を設定し、国連機関が開発する方法論を用いて進捗状況をモニタリングする努力が期待されています。

アフリカの都市人口の推移予想

※出典：United Nations(2018) World Urbanization Prospects



2015年 4.9億人
(総人口の41.2%)



2050年 14.9億人
(総人口の58.9%)